

3 特別会計歳入歳出予算の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合において、特定の歳入をもって特定の歳出に充てるなど、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、条例で設置するものです。本県では第14表の事業について特別会計を設けています。

本年度の特別会計の歳入歳出予算総額は、1,458億7,318万3千円で、前年度の1,532億2,062万6千円に比べ、73億4,744万3千円、4.8%の減となっています。

第14表 特別会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成27年度 当初予算額(A)	平成26年度 当初予算額(B)	比 較	
			増 減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
県債管理	127,575,423	134,560,016	△6,984,593	△5.2
地方独立行政法人三重県立 総合医療センター資金貸付	1,711,218	1,716,696	△5,478	△0.3
母子及び父子並びに寡婦福祉 資金貸付事業	351,453	341,292	10,161	3.0
小児心療センターあすなろ学園事業	1,076,702	1,021,357	55,345	5.4
就農施設等資金貸付事業等	188,676	235,410	△46,734	△19.9
地方卸売市場事業	317,205	217,789	99,416	45.6
林業改善資金貸付事業	1,095,213	852,487	242,726	28.5
沿岸漁業改善資金貸付事業	364,110	365,050	△940	△0.3
中小企業者等支援資金貸付事業等	1,261,693	663,247	598,446	90.2
港湾整備事業	160,682	154,552	6,130	4.0
流域下水道事業	11,757,412	12,391,541	△634,129	△5.1
公共用地先行取得事業	13,396	701,189	△687,793	△98.1
合 計	145,873,183	153,220,626	△7,347,443	△4.8

特別会計歳入歳出予算について、その概要を説明します。

(1) 県債管理特別会計

この会計は、公債費に関する経理の明確化を図る観点から、一般会計に係る県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1,275億7,542万3千円を計上しました。

歳入については、既発債にかかる元利償還財源等となる一般会計繰入金1,174億7,893万6千円等

を計上しました。

一方、歳出については、元金償還金1,129億9,588万6千円、利子償還金145億7,205万7千円等を計上しました。

(2) 地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計

この会計は、地方独立行政法人三重県立総合医療センターが行う建設改良事業等に必要な資金の貸付と、同センターの借入金に係る償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額17億1,121万8千円を計上しました。

歳入については、同センターが過去に借り入れた県債にかかる元利償還金の受入に伴う諸収入14億1,531万8千円、同センターへ建設改良経費として貸し付けるための県債2億9,590万円を計上しました。

一方、歳出については、建設改良にかかる経費を同センターへ貸し付けるとともに、過去の借入に係る元利償還金を県債借入先に償還するための費用17億1,121万8千円を計上しました。

(3) 母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計

この会計は、ひとり親家庭や寡婦（配偶者のいない女性で一定の条件を満たす方）に対し、経済的自立を図るため、各種資金を貸し付ける事業の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額3億5,145万3千円を計上しました。

歳入については、貸付金にかかる元利収入2億3,239万6千円等を計上しました。

一方、歳出については、貸付金として3億3,957万円を計上しており、その他は貸付に伴う運営経費です。

(4) 小児心療センターあすなろ学園事業特別会計

この会計は、発達障がい児及び情緒障がい児等の心身の健全な発達を図るために設置された三重県立小児心療センターあすなろ学園の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額10億7,670万2千円を計上しました。

歳入については、児童福祉法に基づく措置児童に係る措置費及び診療収入5,774万2千円、それ以外の児童に係る診療収入6億9,936万5千円、一般会計繰入金3億335万3千円等を計上しました。

一方、歳出については、職員給与費等の人件費7億6,239万2千円、学園の運営経費として、3億1,055万4千円等を計上しました。

(5) 就農施設等資金貸付事業等特別会計

この会計は、旧農業改良資金助成法等に基づき過去に貸し付けた農業の担い手が農業改良措置（新たな農業部門の開始、新たな生産方式の開始等）を実施するのに必要な資金の償還金等の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1億8,867万6千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入6,443万1千円等を計上しました。

一方、歳出については、就農施設等資金償還管理事業費2,458万円等を計上しました。

(6) 地方卸売市場事業特別会計

この会計は、生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため開設し、平成21年度に中央卸売市場から地方卸売市場に転換するとともに、指定管理者制度を導入した三重県地方卸売市場の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額3億1,720万5千円を計上しました。

歳入については、県債1億6,000万円、一般会計繰入金1億3,675万円等を計上しました。

一方、歳出については、市場施設維持管理費1億9,579万4千円、公債費1億179万6千円等を計上しました。

(7) 林業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、林業・木材産業経営の改善、労働災害の防止並びに後継者の育成に要する必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額10億9,521万3千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入3億6,426万4千円、県債1,735万1千円等を計上しました。

一方、歳出については、木材産業等高度化推進資金貸付事業費3億5,034万円、林業改善資金貸付事業費5,086万7千円等を計上しました。

(8) 沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、沿岸漁業経営の改善および後継者の育成に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額3億6,411万円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入5,936万円等を計上しました。

一方、歳出については、沿岸漁業改善資金貸付事業費9,344万4千円等を計上しました。

(9) 中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計

この会計は、小規模企業者等設備導入資金助成法等に基づき、中小企業者等の近代化、高度化を促進するため、事業の共同化、店舗の集団化および設備の近代化等に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額12億6,169万3千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入4億2,118万9千円、一般会計繰入金2億1,038万3千円等を計上しました。

一方、歳出については、小規模企業者等設備資金貸付事業貸付事業費6億4,303万3千円、新設備貸与制度事業費3億1,101万9千円、高度化事業資金貸付事業費1,653万5千円等を計上しました。

(10) 港湾整備事業特別会計

この会計は、港湾埋立事業により取得した港湾施設及び施設用地の管理のほか、港湾整備事業に伴い借り入れた県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1億6,068万2千円を計上しました。

歳入としては、港湾施設使用料4,669万1千円、一般会計繰入金8,587万6千円等を計上しました。

一方、歳出については、管理費864万5千円及び県債の元利償還金1億5,203万7千円を計上しました。

(11) 流域下水道事業特別会計

この会計は、流域下水道各処理区の管理のほか、流域下水道事業の建設費、県債の元利償還金等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額117億5,741万2千円を計上しました。

歳入については、流域下水道事業費地元負担金61億6,956万5千円、国庫補助金19億6,984万7千円、県債17億3,970万円、一般会計繰入金18億4,522万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、流域下水道建設費36億752万2千円、流域下水道管理費46億3,909万9千円、県債の元利償還金35億1,079万1千円を計上しました。

(12) 公共用地先行取得事業特別会計

この会計は、公共事業を行うため必要とする用地をあらかじめ取得する事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1,339万6千円を計上しました。

歳入については、土地開発基金繰入金1,330万2千円、利子収入9万4千円を計上しました。

一方、歳出については、一般会計繰出金1,330万2千円及び土地開発基金積立金9万4千円を計上しました。